

## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 タカセ株式会社

コード番号 9087 URL <http://www.takase.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大宮司 典夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼国際業務総括部担当 (氏名) 島津 和人 TEL 03-3571-9497

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,179	△2.1	△32	—	△21	—	△19	—
25年3月期第1四半期	2,226	△6.9	83	56.2	95	74.0	59	104.1

(注)包括利益 26年3月期第1四半期 17百万円 (△67.9%) 25年3月期第1四半期 55百万円 (98.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第1四半期	△1.98	—
25年3月期第1四半期	5.87	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第1四半期	9,800	6,844	6,844	69.8	69.8	681.33
25年3月期	9,734	6,932	6,932	71.2	71.2	690.03

(参考)自己資本 26年3月期第1四半期 6,844百万円 25年3月期 6,932百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	0.00	—	10.50	10.50
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	10.50	10.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	4,300	△1.3	70	△36.0	80	△25.3	50	△18.7	4.98
通期	9,000	1.6	228	4.6	240	11.6	130	12.6	12.94

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	10,545,133 株	25年3月期	10,545,133 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	499,426 株	25年3月期	499,215 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	10,045,813 株	25年3月期1Q	10,139,648 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法にもとづく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法にもとづく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 一般概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高の修正や株価の回復などのほか、政府の経済政策や金融政策への期待感から、景況感に明るい兆しが見られるようになってまいりました。また、米国経済が緩やかに回復してまいりましたが、新興国経済の成長鈍化や欧州経済の低迷などの懸念材料もあり、依然として、景気の先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの属する物流業界は、依然として、顧客の物流コスト圧縮の要請と業者間の過当競争による料金低下という厳しい環境の中、物流業務にかかる高度な業務品質の維持・向上を迫られ、期待利益の確保が厳しくなっております。

こうした状況の中で、当社グループは「グループ経営の強化」を重要課題に掲げ、グループ各社がそれぞれの事業分野や地域において競争力を高め、収益力向上を果たすため、営業力の強化と業務品質の維持・向上に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの営業収益は、航空輸入等の輸入関連業務取扱増加があったものの、主要顧客との業務取扱が縮小したことのほか、国内物流事業にかかる收受料金の低下があったことにより、前年同期間と比較して2.1%減の21億79百万円の計上となりました。また、利益面におきましては、これまで同様、取扱物量に見合った倉庫保管スペースや労務費の効率化など、あらゆる経費削減に努めたものの、新規取込業務の立上げに想定以上のコストを発生させてしまったことや、国内物流事業の営業収益減少にともなう労務コストの削減が思うように図れなかったことにより、営業損益は32百万円（前年同期間は83百万円の営業利益）の営業損失計上を余儀なくされました。また、経常損益は21百万円（前年同期間は95百万円の経常利益）の経常損失となり、さらに、四半期純損益は、特別損失に固定資産除売却損11百万円を計上したこともあり、19百万円（前年同期間は59百万円の四半期純利益）の四半期純損失となりました。

#### ② 報告セグメントの概況

A. 総合物流事業におきましては、航空輸入等の輸入関連業務取扱増加があったものの、主要顧客との業務取扱が縮小したことのほか、国内物流事業にかかる收受料金の低下があったことにより、営業収益は前年同期間と比較して1.8%減の21億9百万円となりました。また、営業総利益は、新規取込業務の立上げに想定以上のコストを発生させてしまったことや、国内物流事業の営業収益減少にともなう労務コストの削減が思うように図れなかったことにより、前年同期間と比較して39.7%減の1億91百万円となりました。

B. 運送事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する運送分野を担っており、「まごころ便」の取扱量が減少したことから、営業収益は前年同期間と比較して10.2%減の2億44百万円となりました。一方で、営業総利益は、配送ルートの見直しや不採算業務の効率化などのコスト改善が成果を上げたことにより、前年同期間と比較して約12倍の5百万円となりました。

C. 流通加工事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する流通加工（倉庫内オペレーション）分野を担っており、主要顧客との取引縮小を余儀なくされたことから、営業収益は前年同期間と比較して9.8%減の3億11百万円となりました。また、営業総利益は、営業収益の減少により、前年同期間と比較して34.2%減の22百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ65百万円(0.7%)増加し、98億円となりました。

この主な要因は、受取手形及び売掛金が1億30百万円減少したものの、現金及び預金が1億22百万円増加し、繰延税金資産が45百万円増加したことによるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億53百万円(5.5%)増加し、29億55百万円となりました。

この主な要因は、短期借入金が増加したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ87百万円(△1.3%)減少し、68億44百万円となりました。

この主な要因は、利益剰余金が四半期純損失による減少19百万円のほか、前期剰余金処分に伴う期末配当金支払による減少1億5百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、各利益項目において、営業損失、経常損失、四半期純損失の計上を余儀なくされておりますが、7月以降、労務費および人件費等の固定費削減効果が見込まれることから、平成26年3月期第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想は、前回公表(平成25年5月14日付平成25年3月期 決算短信)のとおり、現時点での修正はありません。

今後の業況を見極めた上で、業績予想の修正が必要と判断される場合には、速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,940,087	3,062,917
受取手形及び売掛金	1,086,188	955,788
前払費用	37,007	42,339
原材料及び貯蔵品	10,268	10,440
繰延税金資産	56,719	102,452
未収法人税等	472	3,486
その他	118,372	166,373
貸倒引当金	△543	△491
流動資産合計	4,248,572	4,343,306
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,259,956	8,249,360
減価償却累計額	△5,930,074	△5,970,444
減損損失累計額	△52,617	△52,617
建物及び構築物(純額)	2,277,264	2,226,298
機械装置及び運搬具	2,066,638	2,070,847
減価償却累計額	△1,986,398	△1,992,313
機械装置及び運搬具(純額)	80,239	78,533
土地	1,574,272	1,574,272
その他	377,720	376,577
減価償却累計額	△332,476	△334,190
その他(純額)	45,243	42,386
有形固定資産合計	3,977,019	3,921,490
無形固定資産		
借地権	449,043	458,486
その他	75,998	72,893
無形固定資産合計	525,042	531,379
投資その他の資産		
投資有価証券	499,097	543,723
繰延税金資産	195,534	168,154
その他	300,568	303,786
貸倒引当金	△11,409	△11,524
投資その他の資産合計	983,790	1,004,140
固定資産合計	5,485,853	5,457,010
資産合計	9,734,425	9,800,316

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	467,510	420,658
短期借入金	649,000	802,000
未払費用	139,378	170,939
未払法人税等	64,142	19,688
賞与引当金	76,653	119,537
役員賞与引当金	18,850	2,500
その他	89,383	186,009
流動負債合計	1,504,918	1,721,334
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	100,000	90,000
退職給付引当金	604,280	560,022
役員退職慰労引当金	93,212	84,556
固定負債合計	1,297,493	1,234,578
負債合計	2,802,412	2,955,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,280	2,133,280
資本剰余金	2,170,568	2,170,568
利益剰余金	2,699,485	2,574,097
自己株式	△132,372	△132,427
株主資本合計	6,870,962	6,745,519
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76,426	89,341
為替換算調整勘定	△15,375	9,542
その他の包括利益累計額合計	61,050	98,884
純資産合計	6,932,013	6,844,403
負債純資産合計	9,734,425	9,800,316

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業収益	2,226,799	2,179,424
営業原価	1,887,604	1,966,362
営業総利益	339,195	213,062
販売費及び一般管理費	256,076	245,819
営業利益又は営業損失(△)	83,119	△32,757
営業外収益		
受取利息	235	235
受取配当金	16,771	12,664
受取賃貸料	1,192	1,012
その他	2,842	2,892
営業外収益合計	21,043	16,805
営業外費用		
支払利息	6,165	4,027
支払補償費	2,022	880
その他	459	390
営業外費用合計	8,647	5,298
経常利益又は経常損失(△)	95,514	△21,250
特別利益		
固定資産売却益	6,140	49
特別利益合計	6,140	49
特別損失		
固定資産除売却損	7,312	11,815
特別損失合計	7,312	11,815
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	94,342	△33,015
法人税、住民税及び事業税	55,384	12,382
法人税等調整額	△20,549	△25,492
法人税等合計	34,835	△13,109
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	59,507	△19,905
四半期純利益又は四半期純損失(△)	59,507	△19,905

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	59,507	△19,905
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,364	12,915
為替換算調整勘定	13,652	24,918
その他の包括利益合計	△3,712	37,833
四半期包括利益	55,794	17,927
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,794	17,927
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	2,146,198	17,493	54,476	2,218,169	8,630	2,226,799
セグメント間の内部営業収益または振替高	892	254,543	291,201	546,637	35,281	581,918
計	2,147,090	272,037	345,678	2,764,806	43,911	2,808,717
セグメント利益	316,956	441	34,414	351,811	3,855	355,666

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
外部顧客への営業収益	—	2,226,799
セグメント間の内部営業収益または振替高	△581,918	—
計	△581,918	2,226,799
セグメント利益	△16,471	339,195

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△16,471千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業総利益と調整をおこなっております。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2. 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	2,104,399	24,419	41,622	2,170,441	8,983	2,179,424
セグメント間の内部営業収益または振替高	4,846	219,760	270,297	494,905	27,599	522,505
計	2,109,246	244,180	311,919	2,665,346	36,583	2,701,929
セグメント利益	191,263	5,417	22,647	219,327	3,928	223,256

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
外部顧客への営業収益	—	2,179,424
セグメント間の内部営業収益または振替高	△522,505	—
計	△522,505	2,179,424
セグメント利益	△10,194	213,062

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△10,194千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業総利益と調整をおこなっております。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。